

評価時点 [令和8年(2026年)1月]
令和8年度(2026年度)事業分 公共事業事前評価調書

評価調書作成者 [河川課長 工藤 康隆]

事業プロフィール

【事業概要】

事業名	大規模特定河川事業
事業箇所	白川
事業担当課(室)	河川課
事業期間	R8～R14
総事業費	1,608百万円
事業内容	河川改修
事業目的	<p>現状 平成24年7月の九州北部豪雨で、広範囲で家屋の浸水、農地浸水が発生し、地元市町から毎年、改修の要望を受けている。</p> <p>課題 白川の菊陽町・大津町区間においては、1／10規模にも満たない整備状況となっているため、早期の改修が必要。</p> <p>目的 白川水系河川整備計画に基づいた河川改修を早期に実施するため、補助事業化し促進を図る。</p>

【現況写真】



(平成24年の出水状況)
 平成24年に発生した九州北部豪雨により周辺家屋が34戸浸水被害を受けた。

【検討状況】

技術的難易度	一般的な技術で対応できる。
費用便益比	1.42
事業比較 事業を実施しない場合や代替案を含めて事業実施についての比較検討を行った内容(ソフト対策も含む)	<ul style="list-style-type: none"> 事業を行わない場合、今後の豪雨により浸水被害が発生する可能性がある。 事業の実施内容については、白川水系河川整備計画時に工法の比較を行っている。
ユニバーサルデザインへの配慮事項・内容	<ul style="list-style-type: none"> 完成後は堤防の雑草を地域住民と連携して管理していく。また、維持管理ができるだけ必要な手法についても併せて検討していく。
関係法令等の手続きの把握・完了状況	河川法

【周辺状況】

関連事業	白川防災・安全交付金事業
市町村、地元の状況	<ul style="list-style-type: none"> 地元市町から、毎年改修の要望あり。
説明会の開催状況と関係者の意向	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年11月20日に関係地区の住民に対して、事業の必要性等について説明会を行った。事業実施についての反対者はいなかった。

【環境影響】

① 緑・自然生態系への配慮

環境配慮事項		該当地域の有無
1	希少な野生動植物や特定植物群落などの生息や生育地域及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	生態系の保全に重要な湿地、湿原、干潟又は藻場は存在しないか。	無
3	気候緩和、防災や景観保全機能に重要な役割を持つ森林、草原、街路樹等の緑資源が存在しないか。	無

② 地形・自然景観への配慮

環境配慮事項		該当地域の有無
1	自然景観資源、特異な地形・地質・自然現象等の優れた自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	湧水、滝・渓谷、自然海岸など希少な自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
3	自然地形の改変(切土、盛土)、構造物の設置、緑化等を実施する際の配慮を要する地域に該当しないか。	無

③ 水資源への配慮

環境配慮事項		該当地域の有無
1	水量、水質の保全に重大な影響を及ぼす水道水源等の上流域に該当しないか。	無
2	河川、海域、地下水等を汚染するおそれのある地域に該当しないか。	無
3	地下水量あるいは地下水かん養量を減ずるおそれのある地域に該当しないか。	無

④ 生活環境への配慮

環境配慮事項		該当地域の有無
1	史跡・名勝・天然記念物、歴史的建造物、町並み等有形の文化財及び埋蔵文化財等への配慮を要する地域に該当しないか。	無
2	大気汚染、騒音、振動、悪臭への配慮を要する地域に該当しないか。	無
3	周辺地域への日照障害、電波障害、光害や風害の防止への配慮を要する地域に該当しないか。	無
4	住宅地や集落地などの地域コミュニティ分断への配慮を要する地域に該当しないか。	無
5	水辺へのアプローチの確保と親水空間の創出に配慮を要する地域に該当しないか。	無

事業評価

:共通指標

【事業評価表】

評価軸	評価項目	配点	評点
重要性	① 事業計画の位置付け	5	5
	② 市町村の位置付け	5	3
	小計	10	8
必要性	③ 特定地域振興	5	0
	④想定氾濫区域内の宅地状況	10	10
	⑤重要な公共施設等の有無	5	3
	⑥想定氾濫区域内の農耕地状況	5	5
	小計	25	18
緊急性	⑦平時の活動阻害	15	15
	⑧浸水被害の頻度	10	0
	⑨人的被害の有無	10	8
	⑩他事業関連(圃場整備、まちづくり等)	5	5
	⑪交通に対する影響	5	5
	小計	45	33
効率性	⑫ 費用便益比(B/C)	20	12
	小計	20	12
合計		100	71